

論点等説明シート

事業名	中小零細規模事業場集団へのリスクアセスメント研修等実施経費					
予算の状況 (単位:百万円)		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求
	予算額(補正後)	159	166	113	107	
	執行額	108	117	97		
	執行率	67.5%	70.4%	85.5%		

事業についての論点等

(事業の概要)

労働災害（年間約12万件）の約9割は中小零細規模事業場（以下「中小事業場」という）で発生し、その発生率も大規模事業場の約2倍となっているが、中小事業場をとりまく課題に対応するには、リスクアセスメントを実施し自らの経営資源や人的資源に見合った対策を進めるのが有効であることから、中小事業場が自主的に取り組めるよう以下の事業を実施する。

- (1) 中小事業場へのリスクアセスメント研修 30,594 (37,976) 千円
- (2) 中小事業場の機械災害対策 11,209 (12,355) 千円
- (3-1) 職場の安全対策の周知・意識啓発事業 45,201 (40,436) 千円
 - ①「職場のあんぜんサイト」の運営・管理 ②見える安全活動コンクールの実施
- (3-2) 災害事例等作成事業（「職場のあんぜんサイト」のコンテンツ作成） 9,744 (12,186) 千円
- (3-3) 安全シンポジウムの開催 2,902 (2,821) 千円

(論点)

○リスクアセスメントの普及のために、最も効果的な事業内容となっているか。
 例えば、全国の工業団地を対象とするのではなく、中小企業への普及のためには、どこをターゲットとしてとらえて、いつまでにカバーするのか、水平展開の手法も検討しつつ、終期を決めて計画的に実施すべきではないか。

○それぞれの事業の成果目標について、効果があるかを検証することができるものとなっているか。

例えば、リスクアセスメント普及割合や労災発生件数といった、本来の事業目的に結びつけた定量的な成果目標を設定するべきではないか。

予算の執行状況

(単位 円)

新25-021	25年度予算	契約相手	25年度実績	執行率	26年度予算
(1) 中小事業場へのリスクアセスメント研修	37,976,000	(社)日本労働安全衛生 コンサルタント会、(株)イ ンターリスク総研	29,769,793	78.4%	30,594,000
(2) 中小事業場の機械災害対策(25年度～)	12,355,000	中央労働災害防止協会	9,200,688	74.5%	11,209,000
(3-1) 職場の安全対策の周知・意識啓発事業	40,436,000	富士通(株)	40,246,500	99.5%	45,201,000
(3-2) 災害事例等の作成 ※「職場のあんぜんサイト」のコンテンツ作成	12,186,000	アーンスト・アンド・ヤン グ・アドバイザー(株)	7,709,573	63.3%	9,744,000
(3-3) 安全シンポジウムの開催	2,821,000	(株)コンベックス	2,394,000	84.9%	2,902,000
合計	105,774,000		89,320,554	84.4%	99,650,000

事業計画の進捗状況

(単位 円)

新25-021	指標	25年度実行計画	25年度実績	達成率
(1) 中小事業場へのリスクアセスメント研修	研修参加人数	1,500名	2,090名	139.3%
(2) 中小事業場の機械災害対策(25年度～)	研修参加人数	1,000名	1,181名	118.1%
(3-1) 職場の安全対策の周知・意識啓発事業	HPアクセス件数	1,100万件	1,463万件	133.0%
(3-2) 災害事例等の作成 ※「職場のあんぜんサイト」のコンテンツ作成	災害事例件数	30件	39件	130.0%
(3-3) 安全シンポジウムの開催	-	-	-	-